

平安神宮奉納演武大会に参加して

日本武道空手協会 正守和道塾 雨森 夏菜子

「平安神宮にて演武会があるので、参加してみないか？」と、先生から聞いた瞬間に、ぜひ参加したいと思い、今回参加させていただくことにしました。

私は古武道の中の棒術をやっていますが、練習時間もあまり取れずに本番を迎えました。

平安神宮境内で御被いを受けてから演武することになっており、今まで参加させてもらっていたところとは違い、経験したことがなかったため、参拝中はとても心臓がドキドキしていました。

演武が始まり、私の前までにされている方たちは、私より小さな子から経験豊富な方まで、すごく上手な人で、とても立派に演武をされていて、このような人たちと同じ舞台に出て演武をできるのか不安でしたが、先生が「大丈夫だよ！」と励ましてくれたので、とても安心して演武の準備ができました。

私が演武した形の名は津堅棍つゑのえんといいます。この形は私の好きな形であり演武でよく使用しています。神聖な場所なので見守ってくださいと思っていたような感じがして、不安も取り除けて演武が出来てうれしく思います。

人に感動を与えられたかどうかはわかりませんが、これからも練習

をして、また演武ができたらと思います。

今回は時間の都合で、最後までできなかったことができませんでしたが、棒術で立派な先輩方がいらつしゃるので、全国武徳祭や今回の古武道奉納演武大会などで見て、いろんな棒術の形の勉強をしていきたいと思っています。

今回お声を掛けてくださった上村先生、道観世先生ありがとうございました。

平成二十五年年度

平安神宮奉納演武大会にて

武学館 小六 木村 颯馬

「ちゃんと演武ができるだろうか」と、とても不安なまま、当日平安神宮に着きました。そこでは同じ流派の先輩達が待っていてくれて、どうどうとした先輩たちの姿を見て、少し気持ちが楽になりました。本番が近づいて緊張している僕に先輩が「間違えても大丈夫だよ」と優しく声をかけてくれたことで、全力で演武をすることができました。終わった後、周りから拍手をもらって本当にうれしかったです。この経験をこれからの稽古につなげたいと思います。